

紀元前の巨大神代杉を入荷

—静岡・マルダイ—

鳥海山に2,461年前埋没

秋田県の鳥海山ふもとで掘り出された神代杉の巨木八本がこのほど、静岡県富士市の大型木材小売店マルダイ（深澤一元社長）に登場した（写真）。今から二千四百六十一年前の鳥海山噴火で埋没したという推定樹齢一千年級の超巨木だけに、地元業者をはじめうわさを聞いた一般人まで見学者が相次いでいる。同社では来月十二日に開催する秋の大売り出し「大メの市」に目玉商品として出品するが、売却後も引き取られるまで公開を続けるとしている。

深澤社長が発掘現場に駆けつけて直接仕入れ、二十トントレーラー四台で運び込んだという神代杉は、土中三〜四層から掘り出されたもの。①長さ約一〇層×目通り直径約二層②同一〇層×一二〇層③同七層×二層の巨木三本のほか、根元部分等の四〜五層材が五本。樹齢は最大級のもので一千年ほどと推定されているが、実際のところは製品化（輪切り）してみなければ分からないという。

同社では今後、イベント出品などを経て建材業者や銘木業者等に売却する予定で、価格は一本代二千万〜三千万円クラスとか。すでにうち二本は地元業者が購入したが、「引き取られるまで一般公開する方針」（苗木の時点から）四千年の時を超えたという古木のロマンをぜひ見学して味わって欲しい」と馬飼野弘行常務。問い合わせは同社（電話〇五四五―三五―三五五）まで。

